

これからの変化ある社会を生き抜く資質・能力を育成  
する教育課程の在り方の考察及びカリキュラム開発  
～新領域「私の時間」(カリキュラム「私の成長計画」)  
の実践を通して～



千葉県立特別支援学校流山高等学園

電話【本校舎】04-7148-0200【第二キャンパス】04-7141-9900

FAX 04-7148-0066

04-7141-8020

## 研究のポイント

本校は文部科学省より「研究開発学校」の指定を受け、「特別支援教育における、変化  
する社会で生き抜くための資質・能力とエージェンシーを育成する教育課程及び指導方法  
の研究開発—新領域「私の時間」(カリキュラム「私の成長計画」)の実践を通して—」  
という研究課題で4年間(R3～R6)の研究を開始している。本研究は、今までのキャ  
リア教育を発展させ、特別な教育的ニーズを有する生徒が「これからの変化ある社会をよ  
りよく生き抜く」という主題に向け、それを実現する教育課程及び教育方法、評価等につ  
いての研究開発を行なうものである。そこで、変化が激しい時代を豊かに生き抜くことが  
できる資質・能力の獲得を目指す教育の在り方の考察に向けて、本校の教育課題と、  
OECD Education 2030 において示されたこれからの変化する社会において重要とされ  
る「エージェンシー」を手がかりとすることにした。エージェンシーの発揮に必要な資  
質・能力の育成を目指す教育課程を創造するために、新領域「私の時間」を新設し、カリ  
キュラム開発を行なっている。実践を通し、生徒・教員・保護者の効果等から、これから  
の変化ある社会においても、未来を切り拓き、より豊かに生き抜く資質・能力を育成する  
教育課程の在り方について考察していく。

### ■学校の概要 <https://cms1.chiba-c.ed.jp/nagareyamakotogakuen-sh/>

本校は、職業学科を置く高等部単独の特別支援学校であり、教育目標は「自らの夢や希  
望に向かって、よりよい未来を切り拓くため挑戦と創造を続ける生徒」としている。教育  
課程を専門教科、普通教科、学校設定教科(キャリアチャレンジ)、領域、総合的な探究の  
時間(ST)、特別活動などで編成し、教育実践を行なっている。

### ■研究課題

知的障害のある生徒が学ぶ高等特別支援学校において、キャリア形成に向けた教  
育課程の編成や授業における指導方法及び評価方法の研究に取り組む。

### ■研究の目的と方法

#### 1 研究の目的

##### 第2次千葉県特別支援教育推進基本計画Ⅳ-1

平成28年度より校内で取り組んできた基礎研究の実践と成果を基に、キャリア形成  
に向けた教育課程の編成をさらに充実させることで、小・中・高等学校の特別支援教育  
におけるキャリア教育の充実につなげる。

## 2 方法

### (1) これからの変化が激しい社会で生き抜くための資質・能力についての整理

- ・これからの変化が激しい社会で生き抜くための資質・能力をエージェンシーに注目しながら整理し、その実現のために必要な教育の在り方を考察する。

### (2) 新領域「私の時間」の開発と実践

- ・新領域「私の時間」の目標・内容・実施計画を設計し、実践を行なう。

### (3) 調査等による検証

- ・新領域「私の時間」に関わる、生徒の姿やポートフォリオの変容、生徒・保護者・教員へのアンケートを通して、新領域「私の時間」の実施の成果や課題を検証する。

\*本校は令和3年度文部科学省・研究開発学校の指定を受け研究を行っており、県指定の本研究はそれと兼ねている。研究開発学校とは、学校教育法施行規則第55条等に基づき「学習指導要領の規準によらない特別の教育課程の編成・実施」することで、「新しい教育課程・指導方法を開発する」制度である。）

## ■研究概要

### 1 研究主題について

- ・研究背景・目的・方法・研究仮説・本校の教育課題
- ・これからの変化が激しい社会で生き抜くための資質・能力の整理
- ・エージェンシーの整理
- ・エージェンシーの発揮に必要な資質・能力を実現する学習モデルの提案

### 2 新領域「私の時間」の開発・実践・検証

- (1) 新領域「私の時間」目標・内容・実施計画
- (2) 新領域「私の時間」実践
- (3) 新領域「私の時間」検証

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ①これからの変化が激しい社会に向けた資質・能力について一定整理できたこと。
- ②エージェンシーの発揮の実現に向けた新領域「私の時間」の開発を行ない、学校全体で実践し検証ができたこと。

#### (2) 今後の課題

- ①エージェンシーの発揮に向けた必要な資質・能力の明確化【何ができるようになるか】
- ②新領域「私の時間」と他教科・領域との関係性の整理【何を学ぶか】
- ③新領域「私の時間」の充実に向けた教育内容・実施計画の改善【どのように学ぶか】
- ④エージェンシーの発揮を促すよりよい教員の支援・指導の在り方の考察  
【個に応じた指導の充実】
- ⑤持続可能な研究体制への工夫【研究体制】

## 関連資料

- ・【詳しい実践発表】第25回公開研究会 2022年2月10日(水) オンライン開催
- ・【《特設》公開研究会ホームページ】 <https://yshmy2.wixsite.com/my-site>
- ・【新領域「私の時間」紹介】 <https://youtu.be/Whg8fup5kiM>
- ・【研究開発学校について(文部科学省)】  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kenkyu/](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kenkyu/)



## 【講評】

### 県立特別支援学校流山高等学園の実践について

流山高等学園は、令和3年度より、文部科学省の研究開発学校の指定校として、新領域「私の時間」の研究開発に取り組んでいます。新しい教育課程、指導方法についての研究開発を進めていますが、ベースとなるのはそこで実践する授業です。1年目ということもあり、「私の時間」の授業をいかに充実していくかがポイントになります。エージェンシーの発揮に向けた学習活動として、生徒自身が行う「自己分析」や「目標設定」については、ステカやNe!クスト(ネクスト)などの教材やツールの活用が進んでいます。

今後、生徒の変容や成長の様子を捉えながら授業改善を重ね、本学習における学びをより確かなものにしてください。確かな授業実践が研究の基盤となることで、資質・能力を育成する教育課程の在り方の検討がさらに進むことを期待しています。